

令和6年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和5年度事務事業 〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	首都圏における堺の魅力発信事業			事業番号	001-023
担当部署名	市長公室	局	東京事務所	部	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1

堺市基本 計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～		施策	(4) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出	
		有	取組の方向性	①成長分野をはじめとする新事業の創出				
	寄与する KPI	有・無	指標名	イノベーション創出につながる事業数				
		有	現状値	74件(5年(2015～19年度)の累計)		目標値	100件(2021～25年度の累計)	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール(9)産業と技術革新の基盤をつくろう		ターゲット	9.2,9.5
			有	取組	成長産業分野や生産性の向上など競争力を高める投資促進			
		寄与する KPI	有・無	指標名	堺市イノベーション投資促進条例に基づく認定投資額			
			有	現状値	541億円(2022年度)		目標値	1000億円※（2025年度）※2021年度からの累計

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 23 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市東京事務所				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	東京さかい交流会員をはじめ、堺市にゆかりや関心を持つ首都圏在住、在勤、在学者。ならびに首都圏企業、コワーキングスペース入居者。			対象数	単位
					—	—
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	首都圏における本市の認知度向上や魅力の発信を図り、人口誘引、企業誘致や販路拡大などの機会創出につながる。交流した事業者等の情報を本庁に提供し、事業誘致につなげる。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>【令和5年度 事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用した魅力発信 ふるさと納税、アルフォンス・ミュシャ等各種テーマについて関心が高まるよう、連続投稿やフォロー・リツイート企画を実施した。 ・堺への誘客につながるイベントの開催 東京さかい交流会は、WeWorkを会場として実施し、会員以外の首都圏スタートアップ等企業の参加を促したことで参加者間での新たな交流や連携が生まれた。 瀬戸内に面する10自治体で例年開催している「瀬戸内フェア」において、「関西大学との地域連携事業」を活用し、首都圏のイベント開催場所や堺でのフィールドワークを経て、堺の魅力について改めて考えてもらい、学生の新鮮な視点で、若年層や子育て世代に効果的な堺の製品の物販・PRを実施した。 南青山のカフェOVEでの堺打刃物やアルフォンス・ミュシャをテーマにしたポップアップや堺産品を使用したランチメニューを提供するイベントを行うほか、大阪府市や東京都港区、UR等と連携して様々なテーマでイベントを行った。 ・コワーキングスペースの活用 コワーキングスペース主催のピッチイベント等で堺市の取組や実績を発表しPRを実施した。 首都圏で交流を持った事業者等の情報を本庁所管課へ提供し、所管課と連携して実証へつなげた。 				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）					
10	公民連携・協働事業	関西大学との地域連携事業「瀬戸内フェアにおける運営補助」				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	シティプロモーションイベント実施件数	件	目標値	—	8	12	9
			実績値	—	11		
			達成率	—	138%		
	当該指標を選定した理由	首都圏においてシティプロモーションイベントを実施することで、知名度向上や魅力発信につながるため。令和5年度に新たに目標値を設定。					
	目標値の設定根拠・算出方法	年間を通じて効果的な時期に主催・共催イベントを実施する。実施計画をもとに設定。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	企業との新規交流件数	社	目標値	43	120	200	
			実績値	120	183		
			達成率	279%	153%		
	当該指標を選定した理由	多くの企業との交流を行うことで、本庁とのビジネスマッチング、さらには企業誘致へとつながるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	正規職員6名で200社以上の新規交流を行う。実際の交流件数をもとに設定。					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	首都圏における堺の魅力発信事業	事業番号	001-023
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費 (a)	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	1,141	1,678	6,740	1,453	6,598
財源					
国支出金			0		0
府支出金			0		0
市債			0		0
その他 ()			0		0
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
一般財源	1,141	1,678	6,740	1,453	6,598
人件費 (b)	19,790	18,150	19,640	17,820	17,820
年間経費(c)=(a)+(b)	20,931	19,828	26,380	19,273	24,418

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項 目		年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
			R5	決算	0	0		R5	決算	0	0
事業費内訳	謝礼金	R6	予算	550	550	建物借上料	R6	予算	0	0	
		R5	決算	113	113		R5	決算	580	580	
	普通旅費	R6	予算	507	507	その他使用料及び賃借料	R6	予算	595	595	
		R5	決算	89	89		R5	決算	0	0	
	消耗品	R6	予算	251	251	会場等借上料	R6	予算	1,500	1,500	
		R5	決算	333	333		R5	決算	56	56	
	通信運搬費	R6	予算	565	565	機械・機器等借上料	R6	予算	392	392	
		R5	決算	132	132		R5	決算	150	150	
	キャンペーン・PR関連等委託料	R6	予算	2,100	2,100	その他	R6	予算	138	138	
		R5	決算				R5	決算			
		R6	予算				R6	予算			
		R5	決算				R5	決算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和4年度	令和5年度
	①	企業との新規交流件数	社	120	183
	②	上記①にかかる年間経費	千円	8,661	10,300
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	72,175	56,284
	備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	R5年度より定例的な所内会議の開催により、職員各自が持つ人脈や情報を共有することが可能となり、事業者や他自治体等へ、効率的にアプローチできるようになった。 そのため、首都圏のコワーキングスペースとの連携拡大やビッチイベント等の充実により、企業との新規交流件数を増加することができた。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・東京さかい交流会で、交流会会員だけではなく首都圏スタートアップ等企業も参加できるようにしたことにより、新たな関係人口の創出につながった。 ・SNS連続投稿企画として堺の魅力を発信し続けたことや、他自治体や民間事業者と連携し、イベントを実施したことにより、堺市の施策等を首都圏でより広く周知することができた。 ・首都圏で交流を持った事業者等の情報を本庁所管課へ提供し、所管課と連携して事業実現につなげたことで、今後のイノベーション創出の可能性に寄与することができた。
----	---